



2023 年 2 月 14 日

2022 年度決算レポート

2022 年度実績（対 2021 年）

- ・ 売上収益から当期利益まで、過去最高を達成*
- ・ 売上収益は 14.3%増の 2 兆 6,578 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 4.8%増の 2 兆 3,385 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 9.0%増の 6,657 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 19.2%増の 7,278 億円
- ・ 営業利益は 31.0%増の 6,536 億円
- ・ 当期利益は 30.8%増の 4,427 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 991 億円減の 3,829 億円
- ・ 年間一株当たり配当金は 188 円を予定（配当性向 75.4%）

*売上収益、調整後営業利益、継続事業における営業利益、継続事業における親会社の所有者に帰属する当期利益

2023 年度見込（対 2022 年）

- ・ 売上収益は 1.1%減の 2 兆 6,290 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 2.0%増の 2 兆 6,060 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は前年フラットの 7,280 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 8.4%減の 6,670 億円
- ・ 営業利益は 6.4%減の 6,120 億円
- ・ 当期利益は 0.6%減の 4,400 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 191 億円増の 4,020 億円
- ・ 年間一株当たり配当予想は 188 円を予定（配当性向 75.8%）

財務数値の詳細については P.15「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺畠 正道 CEO コメント:

“2022 年の JT グループの実績は、堅調なプライシング効果に加え持続的な市場シェアの伸張を実現したたばこ事業に牽引され、厳しい事業環境下においても非常に力強いものとなりました。日本市場における Ploom X のシェアは堅調に推移すると共に、ロンドンでの Ploom X の上市も実現し、RRP カテゴリにおいて着実に成長を続けております。

国内外たばこ事業の事業運営体制一本化の初年度は、実施した各種施策を通じて、事業基盤及びケイパビリティの強化を実現することができました。今後も一層取り組みを強化してまいります。特に、最重要投資対象である HTS (heated tobacco sticks)カテゴリにおいて、今次経営計画期間である 23 年から 25 年にかけては投資を加速化させ、多くの市場への投入を実現し、2028 年末までに key HTS markets において 10%台半ばのカテゴリシェアを獲得するとともに、

これを通じて RRP ビジネスの黒字化を達成する見込みです。2023 年については、将来に亘る利益成長を実現するための礎を作る年として、HTS カテゴリへの投資加速化を含む事業投資を積極的に実施いたします。

本年より、当社グループが持続的であるための方向性を明確にするものとして、JT Group Purpose を策定いたしました。時代や人により、多様で、変化していく「心の豊かさ」の領域を、今後も社会から任され、貢献できる存在であり続けるため、当社グループは絶えず進化してまいります。

Combustibles からの安定的な利益貢献、HTS における事業成長により、今後とも、中長期に亘り為替一定調整後営業利益の年平均 mid to high single digit の成長を目指していくことになりありません。

結果として、株主還元についても、配当性向 75%を目安とする還元方針に沿って中長期における当期利益の持続的な成長により、着実に強化していきたいと考えております。

事業環境の不確実性・複雑性が高まる中、グループ一丸となって持続的な成長を目指してまいります。”

投資家説明会

投資家説明会は、2023年2月15日、東京時間 18時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

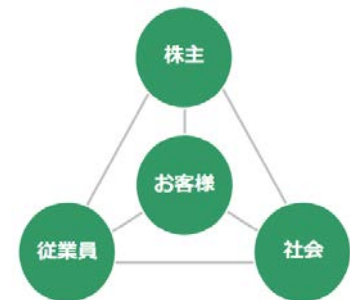
当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度、2022 年度実績及び 2023 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。なお、2022 年度第 4 四半期時点では、エチオピア、イラン、スーダン、トルコが含まれています。

経営計画 2023

経営理念

4Sモデルの追及：

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく



JT Group Purpose

心の豊かさを、もっと。

私たちJTグループは、これまでずっと、心豊かに生きるための「とき」と向き合ってきました。

科学やテクノロジーの進化、価値観の多様化。

どんなに時代が変わっても、私たちは、今ここにある何気ない瞬間にも喜びを見つけられる、心の豊かさを大切にしたいと思っています。

ありのままの自分を認められる「とき」 大切なひとと喜びを共有する「とき」 それぞれを認め合って、高め合って過ごす「とき」

そんな素晴らしい「とき」の積み重ねが、素晴らしい毎日をつくり、素晴らしい人生をつくる。

そしてきっと、社会、世界、未来までも、よりよくしていく。

JTグループは、提供してきた心の豊かさを、次のステージへ。

より多くのお客様やパートナーと、さまざまな事業や取り組みを通じて、社会に心の豊かさを育んでいきます。

「今日もよい一日だった」と感じられる心豊かな社会のために、私たちができることのすべてを。

中長期 成長率目標

全社調整後営業利益 年平均成長率（為替一定）

Mid to high single digit

経営資源 配分方針

4Sモデル / JT Group Purposeに基づく経営資源配分

- 中長期に亘る持続的な利益成長に繋がる事業投資¹を最優先
- 事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視

株主還元方針

- 強固な財務基盤²を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す
- 資本市場における競争力ある水準³として、配当性向75%を目安⁴とする
- 自己株式の取得は当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討

1 たばこ事業の成長投資を最重要視し、お客様・社会への新たな価値・満足の継続的な提供を通じて、質の高いトップライン成長を実現することで、為替一定調整後営業利益の成長を目指す

2 経済危機等に備えた堅牢性及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保

3 ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG（Fast Moving Consumer Goods）企業群の還元動向をモニタリング

4 ±5%程度の範囲内で判断

2022 年度 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2022 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2022 年度	2021 年度	増減率
売上収益	6,493	5,588	+16.2%	26,578	23,248	+14.3%
調整後営業利益	900	675	+33.2%	7,278	6,104	+19.2%
営業利益	742	183	+305.1%	6,536	4,990	+31.0%
四半期/当期利益	389	-3	-	4,427	3,385	+30.8%
フリー・キャッシュ・フロー	-	-	-	3,829	4,820	-
為替一定ベース core revenue	5,727	5,347	+7.1%	23,385	22,317	+4.8%
為替一定ベース 調整後営業利益	872	675	+29.2%	6,657	6,104	+9.0%

2022 年 10-12 月

売上収益

売上収益については、たばこ事業及び加工食品事業での増収に加えて、ポジティブな為替影響により、前年同期比 16.2%増の 6,493 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年同期比 7.1%増の 5,727 億円となりました。

調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び加工食品事業での増加が医薬事業における減少を上回り、前年同期比 29.2%増の 872 億円となりました。財務報告ベースでは、歴史的な円安に伴うポジティブな為替影響により、前年同期比 33.2%増の 900 億円となりました。

営業利益

営業利益については、調整後営業利益の増加に加えて、前年同期に計上したたばこ事業運営体制強化施策の費用が剥落したことにより、前年同期比 305.1%増の 742 億円となりました。

四半期利益

四半期利益については、営業利益の増加が金融損益の悪化を上回り、前年同期比 392 億円増の 389 億円となりました。

2022 年度

売上収益

売上収益については、全ての事業において増収したことにより、前年度比 14.3%増の 2 兆 6,578 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年度比 4.8%増の 2 兆 3,385 億円となりました。

調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、たばこ事業及び医薬事業での増加が加工食品事業における減少を上回り、前年度比 9.0%増の 6,657 億円となりました。財務報告ベースでは、円安に伴うポジティブな為替影響により、前年度比 19.2%増の 7,278 億円となりました。

- **営業利益**

営業利益については、調整後営業利益の増加に加えて、日本におけるたばこ事業運営体制強化施策等の費用の剥落により、前年度比 31.0%増の 6,536 億円となりました。

- **当期利益**

当期利益については、営業利益の増加が金融損益の悪化を大きく上回り、前年度比 30.8%増の 4,427 億円となりました。

- **フリー・キャッシュ・フロー**

フリー・キャッシュ・フローについては、調整後営業利益が増加したものの、運転資本の悪化、法人税支払いの増加及び日本におけるたばこ事業運営体制強化施策の費用の支払い等により、前年度比 991 億円減の 3,829 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2022 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2022 年度	2021 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,546	4,699	+18.0% (+7.8%)*	23,152	20,020	+15.6% (+4.8%)*
調整後営業利益	1,005	764	+31.7% (+28.1%)*	7,540	6,392	+18.0% (+8.2%)*

参考 (億本、億円)

総販売数量	1,253	1,262	-0.7%	5,273	5,300	-0.5%
Combustibles 販売数量	1,234	1,244	-0.8%	5,194	5,229	-0.7%
RRP 販売数量	19	18	+9.2%	79	71	+10.3%
RRP 関連売上収益	166	139	+18.7%	754	722	+4.4%

*為替一定ベース

2022 年 10-12 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、継続的なシェアの伸張、combustibles における単価差影響の発現、RRP 関連売上収益の増加及び歴史的な円安に伴うポジティブな為替影響により、前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、Western Europe 及び EMA を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 356 億円や Asia を中心としたポジティブな数量差影響 8 億円により、前年同期と比べ 18.0%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 7.8%増加しています。RRP 関連売上収益は、日本における Ploom X の牽引により、前年同期比 18.7%の増加となりました。

財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加により、前年同期比 31.7%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 28.1%増加しています。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、継続的なシェアの伸張及び日本における Ploom X の牽引による RRP 販売数量の増加があったものの、前年同期比 0.7%の減少となりました。なお、日本の総販売数量は、MEVIUS、Camel 及び Ploom X の伸長並びに 2021 年 10 月の定価改定においてネガティブな影響を受けた前年同期との有利な比較により、増加しました。また、日本の市場シェアについても、前年同期と比べ伸張しました。RRP 販売数量は、HTS の伸長により、前年同期比 9.2%増加したものの、Combustibles 販売数量は、主要市場であるフィリピン・ロシア・英国を中心とした総需要の減少等により、前年同期比 0.8%の減少となりました。GFB 販売数量は、Winston、Camel 及び MEVIUS の着実な伸長により、前年同期比 2.0%増加しました。

市場シェアは、イタリア・日本・スペイン・台湾といった主要市場を中心に多くの市場で伸張しています。

2022 年度

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、主要市場である日本・フィリピン・ルーマニア・ロシア・スペイン・台湾・トルコ・英国を含む全てのクラスターでポジティブな単価差影響が発現したこと、底堅い総需要、継続的な市場シェアの伸張、RRP 関連売上収益の増加及び主に円安によるポジティブな為替影響により、前年度と比べて増

加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響 1,400 億円がネガティブな数量差影響 440 億円を上回ったことにより、前年度と比べて 15.6%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年度比 4.8%増加しています。RRP 関連売上収益は、前年度比 4.4%増加しました。

財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加が、サプライチェーン関連コストの増加を上回り、前年度比 18.0%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年度比 8.2%増加しています。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、継続的なシェアの伸張及び EMA での販売数量の増加が、主に Asia 及び Western Europe の主要市場における総需要の減少影響をほぼ相殺し、前年度比 0.5%の減少と底堅く推移しました。なお、EMA では、ブラジル・Global Travel Retail・イラン・ポーランド・米国を中心として販売数量が増加しました。GFB 販売数量は、Winston 及び Camel が牽引し、前年度比 1.9%増加しました。Combustibles 販売数量は、前年度比 0.7%の減少となったものの、RRP 販売数量は、日本での Ploom X の発売・シェア伸張により、前年度と比べて 10.3%増加しました。

市場シェアは、主要市場であるイタリア・フィリピン・スペイン・台湾・トルコを含む多くの市場で伸張しています。

たばこ事業 クラスター別 実績

Asia

(億円)	2022 年度	2021 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	8,049	7,922	+1.6% (-2.4%)*
調整後営業利益	2,675	2,693	-0.6% (+0.1%)*

参考 (億円)

総販売数量	1,274	1,332	-4.3%
-------	-------	-------	-------

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年度と比べて 1.6%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、フィリピンを中心にポジティブな単価差/商品構成影響が発現したものの、日本・フィリピンを主因としたネガティブな数量差影響により、前年度比 2.4%減少しました。

調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響及びコストの減少があったものの、ネガティブな数量差影響及び為替影響により、前年度と比べて 0.6%減少しました。為替影響を除いた場合、前年度と比べて 0.1%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、主に日本・フィリピンにおいて総需要が減少したことにより、前年度と比べてそれぞれ 4.3%、1.4%減少しました。市場シェアは、カンボジア・インドネシア・マレーシア・フィリピン・台湾において伸張しました。

- **市場別実績¹**

日本²における総販売数量は、Ploom X の発売・シェア伸張により RRP 販売数量が増加したものの、総需要が減

少したことにより、前年度と比べて 5.9%減少しました。なお、22 年 10-12 月期の総販売数量は、前年同期比で増加しております。市場シェアは、前年度比 2.0 パーセントポイント減の 42.4%になりました。なお、22 年 10-12 月期の市場シェアは、HTS カテゴリ内シェア及び combustibles における Camel がそれぞれ伸張したことにより、22 年 7-9 月期に比べて伸張しました。

Combustibles 販売数量は、combustibles 総需要及びシェアの減少により、前年度比 8.6%の減少となりました。Combustibles 総需要は、前年度と比べて 7.2%減少したものと推定しています。Combustibles シェアは、継続的な低価格帯での競争及び RRP カテゴリの伸張により、前年度と比べて 0.9 パーセントポイント減の 58.2%になりました。

RRP 販売数量は、前年度と比べて 30.2%増加しました。RRP 市場占有率(出荷ベース)は、34.0%と推計しています。RRP カテゴリ内シェアは、前年度比 1.7 パーセントポイント増の 11.9%になりました。Ploom X の販売数量は、前年度と比較して約 2 倍に増加しました。HTS カテゴリ内シェアは、一年を通じて継続的に伸張し、前年度比 3.2 パーセントポイント増の 7.7%になりました。

自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度と比べ減少しました。

フィリピンにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、22 年 1-3 月期の増税に伴う値上げによる総需要の減少により、前年度と比べてそれぞれ 10.8%、1.3%減少しました。市場シェアは、Camel の伸張により、前年度比 0.4 パーセントポイント増の 37.1%と推定しています。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年度と比べ増加しました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要が前年度と同水準である中で、Winston、MEVIUS 及び LD の伸長により、前年度と比べてそれぞれ 3.1%、2.2%増加しました。市場シェアは、Winston 及び MEVIUS の伸張により、前年度比 0.8 パーセントポイント増の 48.9%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度と比べ増加しました。

Western Europe

(億円)	2022 年度	2021 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,388	5,031	+7.1% (+0.3%)*
調整後営業利益	2,193	2,080	+5.4% (+2.4%)*

参考 (億本)

総販売数量	1,089	1,135	-4.0%
--------------	--------------	-------	-------

*為替一定ベース

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年度比 7.1%増加しました。為替影響を除いた場合、主にドイツ・スペイン・英国で発現したポジティブな単価差/商品構成影響が英国を中心に発現したネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年度比 0.3%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響により、前年度比 5.4%増加しました。為替影響を除いた場合、前年度比 2.4%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、市場シェアが引き続き伸張したものの、渡航制限の緩和により特に英国において総需要が減少したことから、前年度と比べて 4.0%減少しました。GFB 販売数量は、Winston 及び Camel のシェアが伸張したことにより、前年度と比べて 1.2%増加しました。市場シェアは、フランス・ドイツ・ギリシャ・アイルランド・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸張しました。

- **市場別実績¹**

イタリアにおける総販売数量は、前年度と比べて 0.7%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年度と比べて 1.2%増加しました。GFB 販売数量は、Winston の伸張が combustibles 総需要の減少を上回り、前年度比 1.9%増加しました。市場シェアは、前年度比 0.8 パーセントポイント増の 27.4%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響があったものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年度と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、前年度と比べて 5.7%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、渡航制限緩和に伴い総需要が回復してきたことにより、前年度比 6.3%の増加となりました。GFB 販売数量は、市場内でトップのシェアを獲得したことにより、前年度比 4.2%増加しました。市場シェアは、Camel の伸張により、前年度比 0.7 パーセントポイント増の 28.5%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年度と比べ増加しました。

英国における総販売数量は、渡航制限緩和による総需要の大幅な減少及びシェアの減少により、前年度と比べて 17.8%減少しました。市場シェアは、Benson & Hedges の継続的な伸張はあるものの、前年度比 0.6 パーセントポイント減の 45.1%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響があったものの、ネガティブな数量差影響により、前年度と比べて減少しました。

EMA

(億円)	2022 年度	2021 年度	増減率
自社たばこ製品売上収益	9,715	7,066	+37.5% (+16.1%)*
調整後営業利益	2,671	1,620	+64.9% (+29.3%)*

参考 (億本)

総販売数量	2,909	2,834	+2.7%
-------	-------	-------	-------

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、Global Travel Retail・イラン・ポーランド・米国を中心に発現した数量差影響、カナダ・チェコ・Global Travel Retail・カザフスタン・ポーランド・ルーマニア・ロシア・トルコを中心に発現した単価差/商品構成影響及びポジティブな為替影響により、前年度比 37.5%増加しました。為替影響を除いた場合、前年度と比べて 16.1%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響がサプライチェーン関連コストの増加を上回り、前年度と比べて 64.9%増加しました。為替影響を除いた場合、前年度と比べて 29.3%増加しました。

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にブラジル・Global Travel Retail・イラン・モロッコ・ポーランド・米国における増加により、前年度と比べてそれぞれ 2.7%、3.4%増加しました。市場シェアは、アルジェリア・アゼルバイジャン・ブラジル・カナダ・チェコ・イラン・カザフスタン・ポーランド・南アフリカ・スーダン・トルコ・米国において伸張しました。

- **市場別実績¹**

ルーマニアにおける総販売数量は、市場シェアが減少したことにより、前年度と比べて 0.3%減少しました。GFB 販売数量は、Camel が牽引し、前年度と比べて 3.7%増加しました。市場シェアは、Camel 及び Sobranie が伸張したものの、前年度比 0.3 パーセントポイント減の 29.5%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年度と比べて増加しました。

ロシア²における総販売数量は、前年度と比べて 2.6%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、増税に伴う値上げによる総需要の減少により、前年度比 1.9%の減少となりました。総需要は、前年度と比べて 3.7%減少したものと推定しています。GFB 販売数量は、Camel の販売数量の増加が、Winston 及び LD の販売数量の減少をほぼ相殺し、前年度と比べて 0.6%減少しました。市場シェアは、Camel の伸張はあるものの、前年度と同水準の 36.6%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年度と比べて増加しました。

トルコにおける総販売数量は、前年度と比べて 3.5%減少しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要の減少により、前年度比 4.4%の減少となりました。GFB 販売数量は、前年度と比べて 2.5%減少しました。市場シェアは、Winston の伸張により、前年度比 0.1 パーセントポイント増の 27.8%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年度と比べて増加しました。

¹ 出典：総需要及びシェアは、IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator 及び JT グループ内部データ等。市場シェアは特に言及がない限り 2022 年 1 月から 12 月までの平均ベースであり、対象は Combustibles（Snus を除く）。12 か月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。なお、トルコの総需要は 2022 年 1 月から 10 月までの実績。

² 特に言及がない限り、総需要及び市場シェアは Combustibles 及び RRP(Reduced-Risk Products)を含みます。

医薬事業

(億円)	2022 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2022 年度	2021 年度	増減率
売上収益	232	236	-1.6%	829	804	+3.1%
調整後営業利益	39	45	-13.5%	111	111	+0.5%

2022 年 10-12 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収があったものの、前年同期の導出品に係る一時金収入の剥落により、前年同期比 1.6%の減収となりました。

調整後営業利益は、主に売上収益の減収により、前年同期比 13.5%の減益となりました。

2022 年度

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、鳥居薬品が増収となった結果、前年度の導出品に係る一時金収入の剥落や海外ロイヤリティ収入の減少があったものの、前年度比 3.1%の増収となりました。

調整後営業利益は、売上収益の増収が、鳥居薬品における研究開発費等の増加を相殺し、前年度比でほぼ同水準となりました。

加工食品事業

(億円)	2022 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2022 年度	2021 年度	増減率
売上収益	427	406	+5.3%	1,555	1,472	+5.6%
調整後営業利益	17	16	+3.2%	35	40	-11.3%

2022 年 10-12 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、コスト増加に対応した価格改定を主因に、前年同期比 5.3%の増収となりました。

調整後営業利益は、原材料費等の高騰やネガティブな為替影響があるものの、価格改定に伴う売上収益の増収により、前年同期比 3.2%の増益となりました。

2022 年度

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、22 年 10-12 月期と同様の要因により前年度比 5.6%の増収となりました。

調整後営業利益は、価格改定に伴い売上収益が増収となったものの、原材料費等の高騰やネガティブな為替影響及び前年度に発生した保険金入金の変動影響により、前年度比 11.3%の減益となりました。

2023 年度 全社及び事業別見込

全社見込

(億円)	2023 年見込	2022 年実績	増減率
売上収益	26,290	26,578	-1.1%
調整後営業利益	6,670	7,278	-8.4%
営業利益	6,120	6,536	-6.4%
当期利益	4,400	4,427	-0.6%
フリー・キャッシュ・フロー	4,020	3,829	-
為替一定ベース core revenue	26,060	25,557	+2.0%
為替一定ベース 調整後営業利益	7,280	7,278	+0.0%
基本的 EPS (円) *	247.91	249.45	-0.6%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

- **売上収益**
 為替一定ベースの core revenue については、たばこ事業及び医薬事業の増収が加工食品事業の減収を上回り、前年度比 2.0%増の 2 兆 6,060 億円を見込んでいます。
 財務報告ベースの売上収益については、主に円高に伴うネガティブな為替影響により、前年度比 1.1%減の 2 兆 6,290 億円を見込んでいます。
- **調整後営業利益**
 為替一定ベースの調整後営業利益については、前年度比フラットの 7,280 億円を見込んでいます。
 財務報告ベースでは、主に円高に伴うネガティブな為替影響により、前年度比 8.4%減の 6,670 億円を見込んでいます。
- **営業利益及び当期利益**
 営業利益については、商標権償却費の減少等があるものの、調整後営業利益の減益により、前年度比 6.4%減の 6,120 億円を見込んでいます。
 当期利益については、金融損益の改善等があるものの、営業利益の減益により、前年度比同水準の 4,400 億円を見込んでいます。
- **フリー・キャッシュ・フロー**
 フリー・キャッシュ・フローについては、前年に計上した日本におけるたばこ事業運営体制強化施策費用に係る支払いの剥落及び法人税支払いの減少が、調整後営業利益の減益及び資本的支出の増加を上回り、前年度比 191 億円増の 4,020 億円を見込んでいます。

事業別見込

たばこ事業

(億円)	2023 年見込	2022 年実績	増減率
自社たばこ製品売上収益	22,930	23,152	-1.0% (+2.2%)*
調整後営業利益	6,960	7,540	-7.7% (+0.4%)*

*為替一定ベース

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、combustibles におけるポジティブな単価差/商品構成影響の継続的な発現及び RRP 関連売上収益の増加が、販売数量の減少を上回り、前年度比 2.2%の増加を見込んでいます。財務報告ベースでは、円高に伴うネガティブな為替影響により、前年度比 1.0%の減収を見込んでいます。

為替一定ベースの調整後営業利益は、為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益の増加が、Ploom X の地理的拡大に向けた投資の増加及びサプライチェーン関連コストの増加を上回り、前年度比 0.4%の増加を見込んでいます。財務報告ベースでは、円高に伴うネガティブな為替影響により、前年度比 7.7%の減益を見込んでいます。

- **販売数量**

総販売数量は、combustibles における継続的なシェアの伸張及び RRP 販売数量の増加を見込むものの、combustibles の総需要減少により、前年度比 1.5%～2%程度の減少を見込んでいます。

医薬事業

(億円)	2023 年見込	2022 年実績	増減率
売上収益	895	829	+8.0%
調整後営業利益	135	111	+21.1%

- 売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は、導出品に係る一時金収入の増加及び鳥居薬品の増収が、海外ロイヤリティ収入の減少を上回り、前年度比 8.0%の増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の増収が、研究開発費の増加を上回り、前年度比 21.1%の増益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2023 年見込	2022 年実績	増減率
売上収益	1,475	1,555	-5.2%
調整後営業利益	40	35	+14.0%

- 売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は、コスト増加に対応した価格改定による売上伸長を織り込むも、ベーカリー事業の譲渡による売上の剥落により、前年度比 5.2%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益は、冷食・常温事業及び調味料事業における前年度実施分の価格改定効果に加え、当年度に計画している価格改定効果が、当年度も上昇することが見込まれる原材料費等のネガティブな影響及びベーカリー事業の譲渡による利益の剥落影響を上回り、前年度比 14.0%の増益を見込んでいます。

データシート

2022年度 実績

1. 全社業績ハイライト

(億円)

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
売上収益	26,578	23,248	+3,330	+14.3%
営業利益	6,536	4,990	+1,546	+31.0%
調整後営業利益	7,278	6,104	+1,173	+19.2%
税引前利益	5,935	4,724	+1,211	+25.6%
当期利益	4,427	3,385	+1,042	+30.8%
一株当たり配当金(円)	188	140	+48	+34.3%
基本的EPS* (円)	249.45	190.76	+58.69	+30.8%
ROE*	13.9%	12.7%	+1.2ppt	

*当期利益を基に算定

(参考)

(億円)

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	23,385	22,317	+1,068	+4.8%
為替一定ベース調整後営業利益	6,657	6,104	+552	+9.0%

2. 事業セグメント別実績

(億円)

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
全社 売上収益	26,578	23,248	+3,330	+14.3%
たばこ事業	24,174	20,951	+3,223	+15.4%
自社たばこ製品売上収益	23,152	20,020	+3,133	+15.6%
医薬事業	829	804	+25	+3.1%
加工食品事業	1,555	1,472	+83	+5.6%
その他	20	21	-1	-4.9%
全社 営業利益	6,536	4,990	+1,546	+31.0%
たばこ事業	6,794	5,224	+1,569	+30.0%
医薬事業	111	113	-1	-1.3%
加工食品事業	42	29	+12	+42.5%
その他/消去	-411	-376	-35	-
調整合計	-742	-1,114	+372	
たばこ事業	-746	-1,168	+422	
医薬事業	-	2	-2	
加工食品事業	7	-10	+17	
その他/消去	-2	62	-65	
全社 調整後営業利益	7,278	6,104	+1,173	+19.2%
たばこ事業	7,540	6,392	+1,148	+18.0%
医薬事業	111	111	+1	+0.5%
加工食品事業	35	40	-4	-11.3%
その他/消去	-409	-439	+30	-

2022年度 実績

3. 事業セグメント別調整後営業利益（調整表）

（億円）

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
全社 営業利益	6,536	4,990	+1,546	+31.0%
調整合計	-742	-1,114	+372	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-714	-689	-25	
調整項目(収益)	159	115	+44	
調整項目(費用)	-187	-540	+353	
全社 調整後営業利益	7,278	6,104	+1,173	+19.2%
たばこ 営業利益	6,794	5,224	+1,569	+30.0%
調整合計	-746	-1,168	+422	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-714	-689	-25	
調整項目(収益)	64	44	+20	
調整項目(費用)	-96	-523	+427	
たばこ 調整後営業利益	7,540	6,392	+1,148	+18.0%
医薬 営業利益	111	113	-1	-1.3%
調整合計	-	2	-2	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-	2	-2	
調整項目(費用)	-	0	-0	
医薬 調整後営業利益	111	111	+1	+0.5%
加工食品 営業利益	42	29	+12	+42.5%
調整合計	7	-10	+17	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	24	1	+23	
調整項目(費用)	-17	-12	-6	
加工食品 調整後営業利益	35	40	-4	-11.3%
その他/消去 営業利益	-411	-376	-35	-
調整合計	-2	62	-65	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	71	67	+4	
調整項目(費用)	-74	-5	-68	
その他/消去 調整後営業利益	-409	-439	+30	-

4. 減価償却費及び償却費*

（億円）

	2022 累計	2021 累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,769	1,671	+98
たばこ事業	1,638	1,543	+95
医薬事業	48	49	-1
加工食品事業	66	62	+4
その他/消去	18	17	+0

*リース取引に係る減価償却費を除く

5. 連結財政状態データ

（億円）

	2022年12月末	2021年12月末	増減
資産合計	65,481	57,742	+7,739
資本合計	36,168	28,861	+7,307
親会社の所有者に帰属する持分	35,404	28,093	+7,312
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,994.78	1,583.10	+411.67

6. 手元流動性及び有利子負債

（億円）

	2022年12月末	2021年12月末	増減
手元流動性	8,804	7,302	+1,502
有利子負債	9,583	9,186	+397

2022年度 実績

7. 連結キャッシュフロー・データ

(億円)

	2022 累計	2021 累計	増減
営業キャッシュフロー	4,838	5,989	-1,151
投資キャッシュフロー	-1,018	-975	-43
財務キャッシュフロー	-3,062	-3,531	+470
現金及び現金同等物の期首残高	7,217	5,388	+1,829
現金及び現金同等物に係る換算差額等	694	346	+347
現金及び現金同等物の期末残高	8,669	7,217	+1,452
FCF	3,829	4,820	-991

8. 資本的支出

(億円)

	2022 累計	2021 累計	増減
資本的支出	1,010	1,009	+2
たばこ事業	838	810	+28
医薬事業	24	60	-36
加工食品事業	82	107	-26
その他/消去	66	32	+35

9. 為替

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
100円/USD	0.76	0.91	-0.15	19.8%高
100円/RUB	53.06	67.10	-14.04	26.5%高
100円/GBP	0.62	0.66	-0.04	7.2%高
100円/EUR	0.73	0.77	-0.04	6.1%高
100円/CHF	0.73	0.83	-0.10	14.1%高
100円/TWD	22.72	25.45	-2.73	12.0%高
100円/TRY	*	8.02	*	
100円/PHP	41.55	44.85	-3.29	7.9%高

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年12月末日レートを採用。

(100円/TRY : 14.09 100円/USD : 0.75)

10. 医薬事業

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
研究開発費	298	290	+8	+2.8%

2022年度 実績

11. P/L 内訳表

(億円)

	2022 累計	2021 累計	増減	増減率
売上収益	26,578	23,248	+3,330	+14.3%
売上原価	10,910	9,569	+1,341	+14.0%
売上総利益	15,668	13,680	+1,989	+14.5%
その他の営業収益	203	156	+46	+29.7%
持分法による投資利益	80	40	+40	+100.3%
販売費及び一般管理費等	9,415	8,886	+530	+6.0%
広告宣伝費	289	293	-4	-1.3%
販売促進費	1,252	1,087	+166	+15.2%
委託手数料	792	669	+124	+18.5%
従業員給付費用	3,387	3,550	-163	-4.6%
研究開発費	708	650	+58	+8.9%
減価償却費及び償却費	1,143	1,090	+53	+4.9%
減損損失	275	228	+48	+21.0%
有形固定資産、無形資産及び投資不動産の除売却損	74	58	+15	+26.2%
その他	1,495	1,262	+234	+18.5%
営業利益	6,536	4,990	+1,546	+31.0%
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-714	-689	-25	
調整項目(収益)	159	115	+44	
調整項目(費用)	-187	-540	+353	
調整後営業利益	7,278	6,104	+1,173	+19.2%
金融収益	311	190	+121	+63.8%
配当収入	15	9	+6	+62.3%
利息収入	250	124	+126	+101.2%
為替差益	-	-	-	-
その他	46	56	-10	-18.2%
金融費用	913	456	+456	+100.0%
利息費用	270	231	+40	+17.2%
退職給付費用	32	23	+9	+37.4%
為替差損	351	156	+195	+125.4%
その他	260	47	+213	+453.7%
税引前当期利益	5,935	4,724	+1,211	+25.6%
法人所得税費用	1,493	1,322	+171	+12.9%
当期利益	4,442	3,402	+1,040	+30.6%
親会社の所有者	4,427	3,385	+1,042	+30.8%
非支配持分	15	17	-2	-13.8%

2022年度 実績

12. B/S 内訳表

(億円)

	2022年12月末	2021年12月末	増減
流動資産	27,236	23,213	+4,023
現金及び現金同等物	8,669	7,217	+1,452
営業債権及びその他の債権	4,772	4,566	+207
棚卸資産	6,919	5,632	+1,287
その他の金融資産※ ¹	377	173	+204
その他の流動資産	6,492	5,620	+871
売却目的で保有する非流動資産	7	5	+2
非流動資産	38,245	34,529	+3,716
有形固定資産	7,760	7,558	+201
のれん※ ²	24,461	20,610	+3,851
無形資産※ ³	2,464	3,072	-607
投資不動産	95	50	+45
退職給付に係る資産	578	532	+46
持分法で会計処理されている投資	569	417	+152
その他の金融資産※ ¹	1,404	1,087	+317
繰延税金資産	914	1,204	-290
資産合計	65,481	57,742	+7,739

(億円)

	2022年12月末	2021年12月末	増減
流動負債	15,627	15,003	+623
営業債務及びその他の債務	5,401	5,558	-157
社債及び借入金※ ⁴	1,373	1,429	-56
未払法人所得税等	375	308	+67
その他の金融負債※ ⁴	401	283	+117
引当金	266	249	+18
その他の流動負債※ ⁵	7,811	7,177	+634
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	0	-	+0
非流動負債	13,687	13,878	-191
社債及び借入金※ ⁴	8,210	7,757	+453
その他の金融負債※ ⁴	417	439	-22
退職給付に係る負債	2,441	2,962	-521
引当金	265	229	+36
その他の非流動負債※ ⁵	1,952	1,792	+161
繰延税金負債	401	700	-299
負債合計	29,313	28,881	+432
資本	36,168	28,861	+7,307
資本金	1,000	1,000	-
資本剰余金	7,364	7,364	-
自己株式	-4,902	-4,909	+7
その他の資本の構成要素	1,043	-4,001	+5,044
利益剰余金	30,899	28,638	+2,261
非支配持分	763	768	-5
負債及び資本合計	65,481	57,742	+7,739

※1 : その他の金融資産（流動・非流動の計）

その他の金融資産	1,780	1,259	+521
デリバティブ資産	243	74	+169
株式	313	278	+35
債券	382	216	+166
定期預金	-	13	-13
その他	905	743	+162
貸倒引当金	-62	-64	+1

※2 : のれん

たばこ資金生成単位	24,207	20,356	+3,851
加工食品資金生成単位	254	254	-

※3 : 無形資産

たばこ事業 商標権	1,791	2,353	-561
-----------	-------	-------	------

※4 : 社債及び借入金（その他の金融負債含む）（流動・非流動の計）

社債及び借入金	10,401	9,908	+493
デリバティブ負債	210	109	+101
短期借入金	637	706	-69
コマーシャル・ペーパー	-	-	-
1年内返済予定の長期借入金	136	423	-287
1年内償還予定の社債	600	300	+300
長期借入金	1,437	1,547	-110
社債	6,773	6,210	+563
その他	608	613	-5

※5 : その他の負債（流動・非流動の計）

その他の負債	9,763	8,968	+795
未払たばこ税	3,398	2,952	+446
未払たばこ税特別税	88	83	+5
未払地方たばこ税	1,846	1,744	+102
未払消費税等	1,376	1,342	+34
従業員賞与	748	695	+53
従業員有給休暇債務	199	211	-12
その他	2,109	1,942	+167

2023年度 見込
(2023/2/14公表)

1. 全社業績ハイライト

(億円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
売上収益	26,290	26,578	-288	-1.1%
営業利益	6,120	6,536	-416	-6.4%
調整後営業利益	6,670	7,278	-608	-8.4%
当期利益	4,400	4,427	-27	-0.6%

(参考)

(億円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	26,060	25,557	+503	+2.0%
為替一定ベース調整後営業利益	7,280	7,278	+2	+0.0%

2. EPS・配当金・ROE

(円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
基本的EPS*	247.91	249.45	-1.54	-0.6%
1株当たり配当金	188	188	-	-
ROE*	12.4%	13.9%	-1.5ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別見込

(億円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
全社 売上収益	26,290	26,578	-288	-1.1%
たばこ事業	23,900	24,174	-274	-1.1%
自社たばこ製品売上収益	22,930	23,152	-222	-1.0%
医薬事業	895	829	+66	+8.0%
加工食品事業	1,475	1,555	-80	-5.2%
その他	20	20	+0	+1.2%
全社 営業利益	6,120	6,536	-416	-6.4%
たばこ事業	6,360	6,794	-434	-6.4%
医薬事業	135	111	+24	+21.1%
加工食品事業	40	42	-2	-4.1%
その他/消去	-415	-411	-4	-
全社 調整後営業利益	6,670	7,278	-608	-8.4%
たばこ事業	6,960	7,540	-580	-7.7%
医薬事業	135	111	+24	+21.1%
加工食品事業	40	35	+5	+14.0%
その他/消去	-465	-409	-56	-

2023年度 見込
(2023/2/14公表)

4. FCF (億円)

	2023 見込	2022 実績	増減
FCF	4,020	3,829	+191

5. 資本的支出 (億円)

	2023 見込	2022 実績	増減
資本的支出	1,300	1,010	+290
たばこ事業	1,075	838	+237
医薬事業	50	24	+26
加工食品事業	110	82	+28
その他/消去	65	66	-1

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2023年の総販売数量：対前年で1.5%～2%程度の減少(2022年の総販売数量は5,273億本)
- ・ 2023年のGFB販売数量：対前年で0.5～1.0%程度の減少(2022年のGFB販売数量は3,624億本)

<為替前提レート>

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
100円/USD	0.77	0.76	+0.01	1.3%安
100円/RUB	53.80	53.06	+0.74	1.4%安
100円/GBP	0.64	0.62	+0.02	3.5%安
100円/EUR	0.73	0.73	+0.00	0.7%安
100円/CHF	0.72	0.73	-0.01	1.3%高
100円/TWD	23.85	22.72	+1.13	4.8%安
100円/TRY	-	*	-	
100円/PHP	43.00	41.55	+1.45	3.4%安

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年12月末日レートを適用。

超インフレ会計適用に伴い実績のみ記載。(100円/TRY : 14.09 100円/USD : 0.75)

たばこ事業データ

1. サマリー (前年同期比)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,285	1,342	1,392	1,253	5,273	億本
	+1.2%	-1.8%	-0.6%	-0.7%	-0.5%	
Combustibles販売数量	1,266	1,322	1,373	1,234	5,194	億本
	+1.0%	-2.0%	-0.7%	-0.8%	-0.7%	
GFB販売数量	874	918	956	876	3,624	億本
	+3.7%	+0.6%	+1.3%	+2.0%	+1.9%	
RRP販売数量	20	21	20	19	79	億本
	+15.5%	+13.6%	+3.5%	+9.2%	+10.3%	
自社たばこ製品売上収益	5,020	6,032	6,554	5,546	23,152	億円
	+6.1%	+16.1%	+21.5%	+18.0%	+15.6%	
	(+3.4%)*	(+3.7%)*	(+4.5%)*	(+7.8%)*	(+4.8%)*	
RRP関連売上収益	191	201	197	166	754	億円
	+2.4%	+0.6%	+0.2%	+18.7%	+4.4%	
調整後営業利益	1,973	2,278	2,283	1,005	7,540	億円
	+8.3%	+19.6%	+20.1%	+31.7%	+18.0%	
	(+3.4%)*	(+9.5%)*	(+3.6%)*	(+28.1%)*	(+8.2%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	4,731	5,195	5,395	4,699	20,020
数量差	-93	-164	-191	+8	-440
単価差/Mix	+256	+356	+432	+356	+1,400
2022為替一定	4,894	5,387	5,636	5,063	20,981
FX	+126	+645	+918	+483	+2,172
2022	5,020	6,032	6,554	5,546	23,152

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,823	1,904	1,902	764	6,392
数量差	-73	-153	-173	+9	-390
単価差/Mix	+225	+369	+433	+375	+1,401
その他	-89	-35	-191	-169	-484
2022為替一定	1,886	2,084	1,971	978	6,919
FX	+88	+194	+313	+27	+621
2022	1,973	2,278	2,283	1,005	7,540

たばこ事業データ

4. クラスター別 構成 (前年同期比)

販売数量														(億本)
	Q1			Q2			Q3			Q4			YTD	
Asia	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
総販売数量	315	328	-4.1%	317	338	-6.1%	327	358	-8.7%	315	308	+2.4%	1,274	-4.3%
GFB販売数量	187	196	-4.5%	192	201	-4.6%	205	214	-4.1%	198	183	+8.5%	782	-1.4%
Western Europe	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
総販売数量	275	287	-4.3%	284	302	-6.0%	281	287	-2.2%	249	258	-3.4%	1,089	-4.0%
GFB販売数量	187	188	-0.6%	194	196	-1.1%	190	183	+4.2%	173	168	+2.9%	744	+1.2%
EMA	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
総販売数量	696	655	+6.2%	741	728	+1.9%	784	756	+3.7%	688	695	-1.1%	2,909	+2.7%
GFB販売数量	500	459	+8.9%	532	515	+3.3%	561	547	+2.5%	505	508	-0.7%	2,097	+3.4%

財務														(億円)
	Q1			Q2			Q3			Q4			YTD	
Asia	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,929	1,941	-0.6%	2,075	2,003	+3.6%	2,089	2,163	-3.4%	1,956	1,816	+7.7%	8,049	+1.6%
			(-2.9%)*			(-0.7%)*			(-8.4%)*			(+3.2%)*		(-2.4%)*
調整後営業利益	757	767	-1.3%	807	766	+5.4%	743	806	-7.9%	368	353	+4.0%	2,675	-0.6%
			(-1.5%)*			(+2.4%)*			(-7.7%)*			(+16.1%)*		(+0.1%)*
Western Europe	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,252	1,224	+2.3%	1,427	1,382	+3.3%	1,455	1,294	+12.5%	1,254	1,132	+10.8%	5,388	+7.1%
			(-1.2%)*			(-2.3%)*			(+4.1%)*			(+0.9%)*		(+0.3%)*
調整後営業利益	612	578	+6.0%	670	651	+2.9%	650	575	+13.0%	261	276	-5.5%	2,193	+5.4%
			(+3.0%)*			(-0.4%)*			(+6.4%)*			(-0.7%)*		(+2.4%)*
EMA	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	2021	Var.	2022	Var.
自社たばこ製品売上収益	1,839	1,566	+17.5%	2,530	1,811	+39.7%	3,010	1,938	+55.3%	2,336	1,751	+33.4%	9,715	+37.5%
			(+14.9%)*			(+13.2%)*			(+19.1%)*			(+16.9%)*		(+16.1%)*
調整後営業利益	604	478	+26.3%	800	487	+64.3%	890	520	+71.1%	377	134	+180.6%	2,671	+64.9%
			(+11.8%)*			(+33.8%)*			(+18.1%)*			(+118.8%)*		(+29.3%)*

*為替一定ベース

上記2022年度実績の数値は、未監査の数値であり今後更新される可能性があります。

たばこ事業データ

5. クラスター別 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,941	2,003	2,163	1,816	7,922
数量差	-84	-94	-194	+101	-272
単価差/Mix	+28	+79	+13	-42	+78
2022為替一定	1,885	1,988	1,982	1,874	7,729
FX	+44	+88	+107	+82	+320
2022	1,929	2,075	2,089	1,956	8,049

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,224	1,382	1,294	1,132	5,031
数量差	-64	-124	-51	-80	-319
単価差/Mix	+50	+92	+104	+90	+336
2022為替一定	1,210	1,350	1,347	1,142	5,048
FX	+42	+77	+108	+112	+340
2022	1,252	1,427	1,455	1,254	5,388

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	1,566	1,811	1,938	1,751	7,066
数量差	+56	+54	+55	-13	+152
単価差/Mix	+178	+185	+315	+308	+986
2022為替一定	1,800	2,050	2,308	2,047	8,204
FX	+40	+480	+703	+289	+1,512
2022	1,839	2,530	3,010	2,336	9,715

6. クラスター別 調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	767	766	806	353	2,693
数量差	-64	-78	-131	+94	-180
単価差/Mix	+27	+76	+24	-23	+104
その他	+26	+21	+45	-14	+78
2022為替一定	756	785	744	410	2,695
FX	+1	+23	-1	-43	-20
2022	757	807	743	368	2,675

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	578	651	575	276	2,080
数量差	-39	-93	-49	-73	-254
単価差/Mix	+48	+90	+104	+92	+333
その他	+9	+0	-18	-21	-30
2022為替一定	595	648	612	274	2,130
FX	+17	+22	+38	-13	+64
2022	612	670	650	261	2,193

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2021	478	487	520	134	1,620
数量差	+30	+18	+7	-12	+43
単価差/Mix	+150	+203	+305	+306	+963
その他	-124	-56	-218	-134	-532
2022為替一定	535	651	614	294	2,094
FX	+69	+149	+276	+83	+577
2022	604	800	890	377	2,671

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	447 +3.8%	472 +1.0%	486 +0.5%	448 +0.8%	1,854 +1.5%
Camel	202 +15.1%	211 +6.6%	230 +14.1%	214 +10.5%	857 +11.5%
MEVIUS	109 -2.9%	114 -2.8%	116 -8.1%	109 +2.4%	447 -3.1%
LD	116 -6.8%	121 -7.1%	124 -6.3%	105 -8.0%	466 -7.0%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.86 9.7%高	0.76 19.3%高	0.71 27.2%高	0.70 25.1%高	0.76 19.8%高
100JPY/RUB	73.74 5.0%安	51.38 31.9%高	42.98 55.2%高	44.14 44.7%高	53.06 26.5%高
100JPY/GBP	0.64 6.7%高	0.61 6.6%高	0.61 7.3%高	0.60 8.0%高	0.62 7.2%高
100JPY/EUR	0.77 2.1%高	0.72 4.8%高	0.72 7.4%高	0.69 10.7%高	0.73 6.1%高
100JPY/CHF	0.79 7.4%高	0.74 11.9%高	0.70 19.4%高	0.68 18.8%高	0.73 14.1%高
100JPY/TWD	24.05 10.0%高	22.67 12.7%高	21.96 15.3%高	22.19 10.3%高	22.72 12.0%高
100JPY/TRY	11.95 41.9%安	*	*	*	*
100JPY/PHP	44.29 2.8%高	40.57 8.4%高	40.77 11.6%高	40.59 9.3%高	41.55 7.9%高

現地通貨 vs 円増減率：(前年同期の現地通貨レート／各期の現地通貨レート) -1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年12月末日レートを適用。
(100円/TRY：14.09、参考 100円/USD：0.75)

たばこ事業データ

9. Key markets

Source: IRI, Logista, Nielsen, Panel Strator及びJTグループ内部データ等 / 出典の過去データ修正も反映しています。

日本

Volume evolution (億本)					
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	145	157	164	163	628
	-9.2%	-8.0%	-15.2%	+12.4%	-5.9%
Combustibles販売数量	131	142	148	147	568
	-12.1%	-11.0%	-18.3%	+11.3%	-8.6%
RRP販売数量	14	15	16	16	60
	+33.0%	+35.0%	+30.0%	+23.9%	+30.2%
HTS販売数量	8	9	10	10	37
	+129.5%	+116.5%	+101.3%	+56.8%	+94.4%

Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	42.1%	42.1%	42.5%	43.0%	42.4%	-2.0ppt
Combustibles SoS	57.2%	57.3%	58.5%	59.7%	58.2%	-0.9ppt
GFB	38.8%	39.0%	40.3%	41.4%	39.9%	-0.4ppt
Winston	6.7%	6.6%	6.5%	6.4%	6.6%	-0.4ppt
MEVIUS	26.7%	26.8%	26.4%	26.5%	26.6%	-0.9ppt
Seven Stars	7.3%	7.2%	7.4%	7.5%	7.4%	+0.0ppt
Camel	5.3%	5.6%	7.3%	8.5%	6.7%	+0.9ppt
RRP SoS	12.0%	11.9%	12.0%	11.9%	11.9%	+1.7ppt
HTS SoS	7.2%	7.6%	7.9%	8.1%	7.7%	+3.2ppt
Total SoV	43.0%	42.9%	43.0%	43.4%	43.1%	-2.0ppt

フィリピン

Volume evolution (億本)					
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	69	60	62	62	252
	-3.1%	-13.8%	-13.0%	-13.5%	-10.8%

Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	36.3%	37.0%	37.6%	37.5%	37.1%	+0.4ppt
GFB	12.6%	13.4%	14.3%	15.3%	13.9%	+1.4ppt
Winston	10.5%	10.9%	11.0%	10.4%	10.7%	+0.0ppt
Camel	2.0%	2.4%	3.2%	4.9%	3.1%	+1.3ppt
Total SoV	34.0%	35.2%	35.4%	35.1%	34.9%	+1.9ppt

台湾

Volume evolution (億本)					
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	36	36	37	36	145
	-0.2%	+1.8%	+8.9%	+2.2%	+3.1%

Share evolution						
2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	48.7%	48.7%	48.9%	49.2%	48.9%	+0.8ppt
GFB	40.1%	40.1%	40.3%	40.4%	40.2%	+0.4ppt
Winston	13.7%	13.8%	14.0%	14.1%	13.9%	+0.2ppt
LD	7.4%	7.5%	7.6%	7.7%	7.5%	+0.1ppt
MEVIUS	18.9%	18.8%	18.7%	18.7%	18.8%	+0.1ppt
Total SoV	53.0%	52.9%	53.0%	53.3%	53.1%	+0.7ppt

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	48	47	50	40	185
	-2.0%	-4.0%	+3.3%	+7.2%	+0.7%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	27.3%	27.2%	27.5%	27.8%	27.4%	+0.8ppt
GFB	22.7%	22.7%	23.1%	23.3%	22.9%	+0.9ppt
Winston	14.1%	14.5%	14.8%	15.2%	14.7%	+1.4ppt
Camel	8.5%	8.2%	8.2%	8.1%	8.2%	-0.5ppt
Total SoV	26.8%	26.7%	27.0%	27.3%	27.0%	+0.7ppt

スペイン

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	40	43	36	34	152
	+5.0%	+2.9%	+10.3%	+5.4%	+5.7%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	28.5%	28.4%	28.1%	28.8%	28.5%	+0.7ppt
GFB	26.4%	25.7%	25.6%	26.5%	26.0%	+0.3ppt
Winston	14.9%	14.4%	14.1%	14.8%	14.5%	-0.3ppt
Camel	11.4%	11.3%	11.5%	11.6%	11.5%	+0.6ppt
Total SoV	28.3%	28.1%	27.8%	28.4%	28.2%	+0.8ppt

英国

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	48	48	49	42	187
	-11.6%	-20.1%	-18.6%	-20.8%	-17.8%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	45.2%	45.0%	45.2%	45.2%	45.1%	-0.6ppt
GFB	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf	11.8%	11.2%	10.9%	10.6%	11.1%	-1.4ppt
Sterling	13.7%	13.6%	13.5%	13.2%	13.5%	-0.1ppt
Benson & Hedges	10.2%	10.6%	11.2%	11.4%	10.8%	+0.8ppt
Total SoV	45.8%	45.6%	45.6%	45.4%	45.6%	-0.3ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	16	19	20	17	72
	+2.3%	+1.0%	-3.1%	-0.7%	-0.3%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	30.1%	29.3%	28.9%	29.6%	29.5%	-0.3ppt
GFB	17.3%	16.8%	16.7%	18.1%	17.2%	+0.1ppt
Wisnton	15.2%	14.8%	14.5%	13.9%	14.6%	-0.1ppt
Camel	1.3%	1.3%	1.6%	3.7%	1.9%	+0.6ppt
Total SoV	30.5%	29.9%	29.5%	30.0%	29.9%	-0.0ppt

ロシア*

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	184	195	219	169	767
	-1.3%	-5.5%	+3.4%	-7.8%	-2.6%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	36.5%	36.7%	37.1%	36.0%	36.6%	-0.1ppt
GFB	27.1%	27.4%	27.7%	26.7%	27.2%	+1.1ppt
Winston	12.0%	12.0%	11.9%	11.6%	11.9%	-0.8ppt
Camel	7.4%	7.8%	8.0%	7.8%	7.8%	+2.9ppt
LD	7.7%	7.7%	7.7%	7.4%	7.6%	-1.0ppt
Total SoV	37.3%	37.5%	38.1%	37.5%	37.6%	+0.1ppt

*ロシアにおけるSoM及びSoVは、RMC及びheated tobacco sticksを含みます。

トルコ

Volume evolution

(億本)

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
総販売数量	67	87	82	86	322
	-1.7%	+5.3%	-13.1%	-2.7%	-3.5%

Share evolution

2022	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Combustibles SoM	28.0%	28.0%	27.8%	27.5%	27.8%	+0.1ppt
GFB	25.5%	25.5%	25.4%	25.2%	25.4%	+0.2ppt
Wisnton	16.6%	17.0%	17.1%	17.2%	17.0%	+1.6ppt
Camel	6.4%	6.2%	6.1%	5.7%	6.1%	-0.8ppt
LD	2.4%	2.3%	2.2%	2.2%	2.3%	-0.5ppt
Total SoV	27.1%	27.3%	27.2%	26.8%	27.1%	+0.4ppt

医薬事業 臨床開発品目一覧（2023年2月14日）

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1（国内）	自社品	
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2（国内）	自社品	
				Phase2（海外）		
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び 血糖値の正常化を行う	Phase1（海外）	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1（海外）	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体（AhR）を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3（国内）	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3（国内）		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2（国内）		
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ピルビン酸脱水素酵素（PDH）を活性化 し、代謝異常を是正する	Phase1（海外）	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 コート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2022年10月31日）からの変更点

・ JTE-451（自己免疫・アレルギー疾患/外用）：開発中止

・ JTE-052（乳幼児アトピー性皮膚炎/外用）：「コレクチム軟膏®0.5%、0.25%」の医薬品添付文書改訂相談に基づく添付文書改訂（乳幼児患者に対する適応拡大）

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目（収益及び費用）＊ ＊調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス／関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック＝RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor／電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペーパー（蒸気）を愉しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ＝RMC1 本として換算
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランドが含まれる

総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB（Global Flagship Brand）に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMC として換算）。デバイス／関連アクセサリ等は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス／関連アクセサリ等は含まない
売上シェア（SoV）	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）
Combustibles 総需要	市場全体における Combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース（RMC として換算）の市場規模（自社推計）
クラスター	JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を 3 地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けしたものである。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない - Asia：日本を含むアジア全域 - Western Europe (WE)：西欧地域 - EMA：東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋社債
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く - 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 - 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com